

ヨハネの福音書 第9章 5節

「わたしが世にいる間、わたしは世の光です。」

詐欺が社会の底辺で、陰で、時に膿のように吹き出し人々の前で露わになり横行する。日常的には点滅される光のもと、煌びやかや光に照らし出され、それがまるで真実であり、現実そのものであるかのように思い込んでいる。その日常の光の背後に潜む底知れない闇がある。まやかしの光に酔い、闇に捕らえられている世を目覚めさせるための真の光があることを。光をすでに謳歌している者たちに言わなければならない。だから主イエスは宣言する。「わたしは世の光です。」

主イエスの光が照らす世こそ世のまことの姿であり、主イエスの光こそ真の光である。この光以外に万物の真実な姿を現すものはない。他の光は万物の真の姿を現す予備的なものであるか、または歪めてしまうものである。

真の光は、わたし、主イエスが世にいる間照らす。主イエスが天の父なる御元に帰られた後はどうなるのか。世が再びまやかしの光に満ち、闇が覆うことになるだろうか。そうはならないことを私たちは主イエスからお聞きしている。「あなたがたは世の光です」と宣言してくださった。主イエスに照らし出された者たちが世の光とされる。光の子とされる。

2023年2月11日